

山とまちをつなぐハブ拠点「ダムパークいばきた」の整備

茨木市北部地域「いばきた」には、豊かな自然や美しい里山の景観、現在に伝承された歴史と文化、新鮮な農産物といった、魅力的な資源が数多くある一方で、少子高齢化と人口減少、それに伴う農業などの地域経済の担い手不足など、いくつもの課題を抱えている現状があります。

そこで本市では、「いばきた」の魅力に触れ、訪問したくなるような“山とまちをつなぐハブ拠点”としての役割を果たす場として、安威川ダムの周辺に、公共施設と民間施設が共存する都市公園『ダムパークいばきた』の整備を進めています。

民間のノウハウを活用し、日本最長となる420mの歩行者専用吊り橋やバンジージャンプ、湖面での水上アクティビティが楽しめる公園となる予定で、多くの方が来られることを期待しています。



小中学校体育館への空調設置

茨木市では、小・中学校（全46校）の体育館への空調設備の設置を進めています。

授業や部活動など平時の教育活動における熱中症対策や、災害時において、体育館を避難所としたときの避難者の生活環境改善に向けて、令和3年度から継続的に取り組んでいるものです。

